

校内研修実施報告書

研修内容	<p>学力向上のためのタブレットの効果的な活用について研究し，教職員の指導力の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タブレットの操作について 2 授業におけるタブレットの効果的な活用方法について
研修日時	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年5月から7月の期間（職員朝会時） 2 令和3年11月18日（木），令和4年1月13日（木） 午後3時～（大学連携学力向上研修）
参加者数	福井中学校教職員11名
研修の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎日の職員朝会の時間を活用し，情報教育主任がタブレットの基本的な操作について全教職員に説明した。 2 県の「大学連携学力向上拠点校事業」を活用し，生徒の学力向上に向けた授業改善に取り組んだ。研究の中で，授業におけるタブレットの効果的な活用についても協議を行い，学習指導方法について職員間で情報共有を図った。また，鳴門教育大学の先生からもご助言をいただいた。
工夫した点	<p>1では，1回3分程度ではあるが，毎日続けることに意義があった。毎日タブレットに触れること，1日ひとつの操作を学ぶことを意識し研修を行った。</p> <p>2では，教職員間でICTの活用に関する不安や質問等を共有し，教職員全体で考えていけるよう話し合いの場を設定した。</p>
成果	<p>1では，毎日少しの時間ではあるが，全教職員がタブレットに触れることで，ICTに対する苦手意識の解消につながった。</p> <p>2では，各教科の実践において，効果があった事例を情報共有し，自らの授業実践につなげることができた。</p>
課題	各教科によってタブレットの活用に差がある。また，どのような場面でタブレットを使用すると効果的かなど，タブレットの効果的な活用方法について，もっと研修を深めていくことが必要であると感じる。

校内研修実施報告書

研修内容	ICTスキル項目として設定されている能力の育成を目指して、タブレットPCを使用した研修を毎月の職員会後 GIGA スクール推進員を中心に30分程度行った。主な研修内容は、スキル項目①～⑤の習得を目指したものとなっており、主に授業時間中の活用とオンライン授業や家庭学習での活用に関する内容とした。研修の概要に、研修内容の詳細は記載する。
研修日時	毎月の職員会後等
参加者数	全職員
研修の概要	<p>授業中の学習活動の充実に向けて、次の内容を職員研修で習得し、実際に授業中に活用できるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PDF ファイル形式のワークシートを MicrosoftEdge で開き、タッチペンを活用して自分の考えを記入させる。(スキル項目①) ・越天楽を鑑賞するという学習活動を進めるために必要なワークシートを校内 LAN やアプリケーションを活用して受け取らせたり、学習課題に対する考察を記述し提出させたりする。(スキル項目①) ・ホワイトボード機能を活用することで、グループの話し合いで出た意見を共同編集させる。また、話し合いでまとめた意見を、教室正面の電子黒板にグループの意見を提示し可視化しながら全体に発表させる。(スキル項目②) ・動画配信サイト(YouTube)を活用して鑑賞し、音曲だけでなく演奏の仕方や雰囲気を楽しむ。その際、各自にイヤホンを使用させ、自分の意見を構成するために必要な情報を繰り返し鑑賞することで収集させる。(スキル項目③) <div style="text-align: center;">  </div> <p>写真は、実際に研修した内容を音楽科「越天楽の鑑賞」の学習活動で活用している様子である。</p> <p>また、オンライン授業配信のため、次のような研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MicrosoftTeams を活用して、授業のオンライン配信を行った。生徒にタブレット PC を家庭に持ち帰らせ、学活に参加させたり、教師の発問や質問に対して回答を書き込んだりさせる。(スキル項目①, ②) ・MicrosoftTeams にログインする際のアカウント名やパスワードを生徒に考えさせ、セキュリティ対策のために考えたパスワードは教師以外には教えない、他の生徒のアカウントやパスワードは聞かないよう徹底させる。(スキル項目③, ④, ⑤) <div style="text-align: center;">  </div> <p>写真は、実際に研修した内容をオンライン授業の配信を行い、学習活動で活用している様子である。</p>

工夫した点	職員会, メンター会議, 学年会, 職員朝会等, 様々な場面を活用し, 研修を積み重ねた。ICTに関して, 気軽に質問できる雰囲気が醸成された。
成果	<p>「学習活動の成果物を効率的に回収したり, 評価したりする」「グループで話し合った内容を効果的に全体に共有する」という授業を実現するため, 毎月の職員会後に30分程度ICT活用についてのメンター研修や授業のオンライン配信に向けた職員研修を行っている。ICT活用について「いつでも聞ける」「いつでも相談できる」環境作りを行い, ICTを使用することに対する不安感は軽減されているように感じる。</p> <p>研修中に紹介されたアプリの中で, 各授業者が活用できると感じたものを, 「授業の中に1つ取り入れる」という目標を共有し, 活用することを続けている。また, 学習活動中に授業者が活用に関わったことや, 生徒が負担感を感じていたことを授業者間で必ず共有している。その都度, 使い方の改善や新たなアプリの導入を試みている。</p> <p>タブレットを使った新たな試みに取り組む際には, 授業者が生徒に対して丁寧に説明を行い, タブレットを扱うことが得意な生徒がアドバイスや支援を行う姿も見られるようになった。そのため, タブレットを活用して学習活動に取り組むことができている。</p> <p>また, 授業中の指導や取り組みに加え, 集会等の機会を通じ, 生徒指導主事をはじめ, 全ての教職員からインターネットを使う際のネットリテラシーについての指導を行っている。引き続きタブレットPCを適切に使う意識を育てていくよう努めたい。</p>
課題	<p>授業中タブレットを活用することに加え, 効果的に活用できるアプリを研究したり, 活用したりするための知見は, 職員間の連携により構築されつつある。</p> <p>ICTを活用するための実験的な取り組みや共有に, 多少の時間を必要とするものの, 今後も学習者の実態に応じた独自の課題が作成できるよう研修を続け, 授業者・学習者ともに個別最適化された学習に取り組むことができるよう学校一丸となって取り組みたい。</p>

校内研修実施報告書

研修内容	児童生徒一人一台のタブレットを活用した授業の取り組み ～発展的な活用を進めるためのスキルを身に付ける～
研修日時	<p>8月18日（水） 講師：鳴門教育大学 泰山 裕 准教授</p> <p>9月2日（木） 講師：東京工業大学 赤堀 侃司 名誉教授</p> <p>12月16日（木） 講師：放送大学 中川 一史 教授</p> <p>※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、すべてオンラインによる研修</p>
参加者数	小中学校教職員 30名
研修の概要	<p>【泰山先生】 一人一台端末を活用した情報活用能力の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTいろいろ試してみて、うまくいけば続け、だめならやめる。 ・考える力をどう育てるかを研究する。 ・学習の主導権を徐々に移項 → 活用場面は子どもに任せる。 ・当たり前の道具として、気軽にどんどん使ってみる。また、使える環境を整える。 <p>【赤堀先生】 GIGAスクール構想の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT等の道具は子どもの表現力を高める。 ・成功体験をさせる。 ・得意な子ども、不得意な子どもが協働で教え合う、伸び合う。 ・アカウントとパスワードを持つことは、自律と責任を持たせること。 <p>【中川先生】 一人一台端末環境で実現する子どもの学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書 読む教科書 → 書く教科書・共有する教科書 教科書 ⇔ ノート 個別 ⇔ 協働 授業 ⇔ 家庭 ・授業での効果的な活用だけでなく、朝学活、委員会活動、部活動などでの活用 ・単にドリル的な宿題を行うだけでなく、例えば、授業で活用

	<p>したMetaMoJiでのワークシートを家庭で深い学びにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの7つのしやすさ <ul style="list-style-type: none"> ①書きやすい・消しやすい ②動かしやすい・試しやすい ③共有しやすい・連動しやすい ④大きくしやすい ⑤繰り返しやすい ⑥残しやすい ⑦説明しやすい ・AIやデータの力を活用することで、自らの強みをさらに伸ばし、あるいは弱点を補いながら新たな地平を切り拓いていく。
工夫した点	<p>本校は、ICTを活用した授業展開が得意な教職員がほとんどで、基礎・基本となる研修よりも、発展的な活用を進めるためのスキルを身に付けるため、講師の選定や内容を検討した。そこで、全国でGIGIスクール構想の最前線で活躍されている先生方を講師として依頼し、大変レベルの高い研修を行うことができた。講師への研修依頼に関しては、教育委員会にも協力をお願いして3人もの講師による研修が実現した。以上のように本校教職員の実態に応じた研修になるよう工夫した。</p>
成果	<p>講師の先生方3人とも非常に有能な方々ばかりで、研修を受ける機会があったとしても、首都圏を中心とした大会場、大人数であることがほとんどであるが、今回、本校教職員少人数だけの研修が行えたため、実態に応じた、さらに気軽に質疑ができるなど、直接授業力向上に結びつく研修が行えた。</p>
課題	<p>全国で講演、研修を行っている多忙な講師の先生方に研修依頼をしたのが、今年度入ってからであったため、日程調整が難しかった。できれば、前年度から次年度に向けての研修計画・予算確保が必要であると感じた。また、各先生方には90分程度の研修を一度だけしていただいたが、できれば同じ先生に年間を通じて2～3回の継続した研修を行うことができれば、進捗状況なども踏まえて研修が行え、さらに有効だと考えられる。</p>